

平成最終記念
2019年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第2戦
第13回 菜の花飯山ラウンド 大会要項

ver.20190421

主催	日本学生自転車競技連盟	共催	長野県自転車競技連盟
主管	菜の花飯山サイクルレース実行委員会 http://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/sposhou/sinkou/ivent/cycle.html http://nagamine-sports-park.seesaa.net/		
後援	飯山市 飯山市教育委員会 NPO法人飯山市体育協会 信州いいやま観光局 戸狩観光協会		
協賛	株式会社日直商会 株式会社イノアックコーポレーション 井上ゴム工業株式会社 BRIDGESTONE FULLMARKS Shotz SOTO JA全農長野・長野県牛乳普及協会 戸狩観光協会 戸狩温泉スキー場(株) 神仏の驚森 JAながの TRKWorks (順不同・予定含む)		

【大会日程】※参加人数に応じて、クラス組数を変更することがある。それに伴い時程も変更することがある。

2019年4月28日(日)

10:00~10:30	選手受付(全クラスの2日間分受付)
10:30~10:45	監督会議(選手受付前にて、監督不在の場合は選手代表者が必ず参加する事)
(10:15~11:15)	地元クラスのイベントレース 開催)
11:25	クラス3A組 ポイントレース方式 30分+5周回
12:10~12:40	昼食
12:40	クラス3B組 ポイントレース方式 30分+5周回
13:25	クラス2A組 ポイントレース方式 40分+5周回
14:20	クラス2B組 ポイントレース方式 40分+5周回
15:15	クラス1 ポイントレース方式 60分+5周回
16:40	交通規制解除
16:45~	ゴール地点近傍にて各クラス上位3選手表彰、第1日目 RCS リーダー表彰

2019年4月29日(月・祝)

08:00~08:15	選手受付(全クラスの当日分受付)
08:30	ヒルクライム ヒート1(クラス3+女子)
10:00	ヒルクライム ヒート2(クラス3+女子+地元クラスのイベントレース 地元クラスは5分間の時間差スタートの予定)
11:30~12:00	昼食
12:00	ヒルクライム ヒート1(クラス1+クラス2+地元クラス上位3名/臨時登録者)
13:30	ヒルクライム ヒート2(クラス1+クラス2)
15:00~	スタート地点近傍にて各クラス上位3選手表彰、第2日目 RCS リーダー表彰、 飯山ラウンド総合表彰

【会場】1日目 長野県飯山市 長峰スポーツ公園 針湖池外周道路 1周回1.15km 標高差2m
2日目 長野県飯山市 県道飯山新井線 飯山市中曽根外様~頂上 距離6.0km 標高差484m

【大会主旨】本大会は、当該年度日本学生自転車競技連盟に登録した学生選手の他、社会人、及びジュニア選手によるクリテリウム競技およびヒルクライム競技の優勝者を決めるとともに、学生自転車競技水準向上と開催地域におけるサイクリスポーツの振興に寄与することを目的とする。

【競技種目】1日目 クリテリウム(ポイントレース方式)
2日目 ヒルクライム ※クラス2・3は1日目の昇格によるクラスの変更に注意。

【参加資格】

- ・当該年度に有効な(公財)日本自転車競技連盟の登録競技者、または、UCI加盟国内連盟競技者ライセンス保持者で本連盟が参加を認めたもの。
- ・全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ対象は、日本学生自転車競技連盟加盟校の登録選手とする。

クラス1	40名	学連登録選手	クラス1
		クラブチーム	実業団クラスタPまたはE1の選手、同相当と主催者が認める者
クラス2	80名	学連登録選手	クラス2
		クラブチーム	実業団クラスタE2の選手、同相当と主催者が認める者
			高校生全国大会で入賞経験のある選手
クラス3	120名	学連登録選手	クラス3
		クラブチーム	実業団Eクラスタ3の選手、同相当と主催者が認める者
			高校生でクラス2該当者以外の選手
女子	20名	JCF登録女子競技者	

【参加申込】

- ・参加を希望する選手は学校、チーム単位で所定の様式にて4月9日(火)までに日本学生自転車競技連盟宛に申し込むこと。参加費は、学連登録選手1名につき2日間6,000円とし、それ以外の競技者は1名につき2日間8,000円とする。2日間とも出場しない(どちらか1日のみ)場合も同額とする。また、すべての選手に戸狩観光協会による指定宿舎利用を参加の条件とする(申込書は別添のとおり)。不都合がある場合および、戸狩観光協会からの回答がなく宿泊場所が確定しない場合は、少なくとも大会開催10日前までに必ず本連盟事務局までメール等によりその旨連絡すること。連絡がなく、指定宿舎の利用がない場合は、エントリーを

- 取り消す場合がある。なお、競技者登録住所が長野県内で、大会会場近住の者についてはこの限りではない。
- ・エントリー専用電子メールアドレス (entry@jicf.info) への到着をもって正式エントリーの受領とするが、同一の内容を郵送もしくはファクシミリにて大会事務局宛期限内に送付すること。
- 締め切り後、受付完了者リストを本連盟 web サイトに発表するので、各自受付済みであることを確認のこと。
- ・参加料の送金は下記銀行口座振込とする。送金名義人については振込元に、大会コード「0428」を頭に付け、学校、チーム名が分かるように記入すること。
- 長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通口座：9683738 口座名：日本学生自転車競技連盟
- ・納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。
- ・本申込み手続きを以って本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

【選手受付】

- ・第1日目の受付場所（長峰スポーツ公園駐車場内）に指定時間内にライセンス（または、登録手続き中であることを証明する書類）を提示してゼッケンを受け取ること。

【賞典】

- ・クリテリウムについては時程表に従いゴール地点近傍において各クラス各組上位3選手を表彰する。
- ・本大会の総合成績1位を表彰する。総合成績は、2日間ともクラス1で完走した選手（本大会でクラス1に昇格した者は含まれない）のうち、2日間の着順合計の少ない順で決定する。着順合計に優劣が無い場合は、2日間のうち、より上位の順位を有する者を優位とする。上位の順位の比較でも優劣がない場合は、第1日目クリテリウムの得点ポイントの多い順とする。
- ・第1日目のクリテリウムはクラス3の各グループの出走者上位5%以内の者（小数点以下切上げ・完走しなかった者を除く）がクラス2に昇格し、第2日目のヒルクライムはクラス3出走者全員の上位5%以内の者（小数点以下切上げ・完走しなかった者を除く）がクラス2に昇格する。同じく第1日目のクラス2の各グループの1位の選手はクラス1に昇格し、第2日目はクラス2の1位の選手がクラス1に昇格する。

- #### 【事故処置】
1. 競技中発生した事故等につき、主催者は応急処置の準備をするが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
 2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

- #### 【競技規則】
- JCF 競技規則、大会特別規則による。

- #### 【事務局】
- 日本学生自転車競技連盟 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育館 4階
 FAX: 03-3481-2369 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp http://jicf.info/
 （事務局への連絡・お問合せはメールでお願いします）

2019年度 RCS 第2戦菜の花飯山ラウンド 第1日目（クリテリウム）特別規則

第1条（競技）

1. 第1日目のクリテリウムは中間スプリントとゴールで与えられる得点を基に順位を決定する。
 - ・同得点の場合は、中間スプリント勝利数による。以上において同等の場合、ゴール着順による。
 - ・中間スプリントは競技開始後一定時間経過（クラス3、女子は10分後、クラス2は15分後、クラス1は20分後から5分間隔を目安に、上位3選手に5,3,2点をゴールライン通過順に与える。最終ゴールは上位5選手に10,6,4,2,1点をゴールライン通過順に与える。なお、最後の5周回には中間スプリントを設定しない。
 - ・少数の選手が大集団に1周回追いついた場合、20点を1周回追い抜いた全選手に与える。
2. コース上の飲食料の補給は認めない。
3. 認められた事故の場合、代車、代輪の交換はゴール地点ピットにおいて可能とする。
4. 監察員によって認められた事故の場合、最後の5周回を除き1周回のニュートラリゼーションが与えられる。ニュートラリゼーション適用直後の中間スプリントでは順位を与えられない。
5. クラス3については最初の一定時間はMOTOによるペーサー先導のもと、競技を行うものとする。これは競技経験の浅いクラス3の選手におけるレースの速度感覚の養成等、安全に走行するための指導を目的とする。

第2条（失格・棄権）

1. 大集団から遅れた選手はゴールライン付近にて失格を通告する。ただし、ゴール付近以外でも、コミッセルの判断で失格を言い渡すことがある。
2. 失格を通告された選手は競技を中止して、コースから外れ、速やかにゼッケンを外すかジャージを裏返しにすること。

第3条（その他）

1. 学連登記者以外のユース・ジュニア選手についてはJCF競技規則のギア比制限を適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行う。
2. 飲食料の補給は認めない。
3. 公道上を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープは必須とする。

2019年度 RCS 第2戦 菜の花飯山ラウンド第2日目（ヒルクライム）特別規則

（※但し、積雪状況によっては、ロードレース方式のクリテリウムを1日目のコースにて行うことがある）

第1条（競技）

1. クラス3については、エントリー数によりグループ分けを行い、グループ毎の時差スタートとする場合がある。
2. 競技は先導審判から正式スタートの合図があるまでの間、ニュートラリゼーション区間とする。
3. 2回のヒートごとに、全カテゴリーを通じたタイム計測をフィニッシュ地点にて行う。
4. タイム計測は秒単位とし、集団フィニッシュの競技者は同タイムとして扱う。
5. カテゴリー毎に、各ヒートのタイム合計により順位を決定し、上位3名を表彰する。
6. 中止を命ぜられ失格となった選手および器材故障等により棄権した選手のタイムはリザルト作成のシステム上、最終完走者のタイム+20分として計算するが、完走とはみなさない。2ヒートの完走タイム合計が同じ場合は、最終ヒートのタイムにより順位付けを行う。また、2ヒートすべてに完走した場合のみ RCS の完走ポイントを与える。
7. コース上での飲料の飲料補給は認めない。
8. 地上配置チームスタッフによる器材修理は認められない。

第2条（失格・棄権）

1. スタートより約3.4km（第⑥地点・関門/別添ヒルクライム詳細図を参照）で、先頭から3分以上遅れた選手は、競技の中止を命ぜられる。
2. 第⑥地点通過後であっても、コミッセルの判断により、競技の中止を命ぜられる場合がある。
3. 第1回登坂で競技の中止を命ぜられた選手であっても、次のヒートに参加できる。

第3条（降坂）

各レース後、審判の指示があるまで絶対に降坂しないこと。降坂時は先導車両の後方を走行し、降坂速度は時速30km以内とする。これに従わない競技者は失格とし、以降のヒートに参加することはできない

第4条（RCS ランキング）

1. ロードレース・カップ・シリーズ（RCS）のポイントは、学連登録選手のみに対して付与される。
2. 完走ポイントは、全ヒートを完走した競技者に与えられる。
3. クラス3において第一日目でクラス2に昇格した選手は、第二日目はクラス2で出走する。クラス2において第一日目でクラス1に昇格した選手は、第二日目はクラス1で出走する。
4. 第二日目は RCS ポイント総合順位のリーダーは、リーダーズジャージを着用してスタートしなければならない。

第5条（その他）

1. 学連登記者以外のユース・ジュニア選手については JCF 競技規則のギア比制限を適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行う。
2. レース中の競技者における無線通信その他の遠隔通信は禁止される。
3. ゼッケン、フレームプレートその他、受付で配布されるハンドルバー用プレートをハンドル前方に取り付けること。
4. 主催者がゴール地点に防寒着等個人荷物を輸送する。輸送を希望する者は、ゼッケンナンバーが大きく明瞭に書かれた袋に入れた上、指示する車両に積載を依頼すること。
5. 公道上を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープは必須とする。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時確認すること。

参加申し込みの際し、以下を熟読し、申込みと同時に「内容に同意した事」とみなす。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟
会長 村岡 功 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI（国際自転車競技連合）・JCF（日本自転車競技連盟）規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。（UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第5条 2.（4））

- 2 大会（競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む）における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。（JCF 規則第5条2.（9）準用）
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。（UCI規則1.1.078）
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。（UCI規則1.1.079）
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。
彼は他の者の模範とならなければならない。（UCI規則1.1.080）
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。
すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしおそれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。（UCI規則1.2.079）
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。
競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。（UCI規則1.2.081）
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。
競技者は開催国における法律を順守しなければならない。（UCI規則1.2.082）

FAX
0269(65)4623

又は電子メール mail: info@togarionsen.jp

◎ お申込み先：戸狩観光協会 <http://www.togari.jp/> 電話0269-65-3161

申込期限：4月11日(木) 必着

2019年度 全日本学生ロードレースカップシリーズ 第2戦 菜の花飯山ラウンド

2019年度 菜の花飯山サイクルロードレース

宿泊申込書

2019年4月28日(日) 宿泊

下記の内容で宿泊の申込をおこないます。

学校・チーム名			
ふ・り・が・な 宿泊代表者氏名			
住 所	〒 _____ - _____	都道 府県 _____	
TEL又は携帯	- _____ - _____	FAX	- _____ - _____
宿泊人数	_____ 名 (男 _____ 名、女 _____ 名)		
E-mail (すぐ連絡がつくアドレスを記入)	E-mail: _____ @ _____		
備 考			

※信濃平観光協会の宿となる場合があります。

〈回答書〉

以下、戸狩観光協会記入

宿泊施設名			
住所	〒 _____		
電話			
費用総額	(宿泊@6,480 × _____ 名) + (昼食@ 相談 × _____ 名) = _____, _____ 00		
宿泊代 1泊2食 @6,480 (税込)			
昼食 (オプション) 各宿泊先にてご相談に応じます。			

お問合せ先：戸狩観光協会 電話0269-65-3161

コース全体図

